

大隅（うしみ）郭

巨大な防御壁で守られた大隅郭は、城の内側の郭の中では最も大きく、平部門に最も近い場所にあります。口承では、大隅郭は騎馬戦のための訓練を行う区域であったとされ、ここでは馬の骨が出土しています。この場所は実際にはこの種の訓練に十分な大きさではなく、訓練は別のより広い場所で行われていた可能性があります。将来の発掘調査では、この郭がどのように使われていたかについてより詳しく検証される予定です。大隅郭とそのわきの通路には、1950年代と1960年代にヒカンザクラが植えられました。このヒカンザクラは、日本で最初に開花し、毎年1月中旬から2月上旬にかけて花を咲かせます。